

# 令和5年度 学校努力点研究推進計画

## 1 令和5年度 研究主題

自分を大切に 仲間も大切に ～自他を尊重し、学び合える学級をめざして～

## 2 主題について

一昨年度より、「なかまと共に主体的に学ぶ米野っ子」の育成に向け、タブレットを活用した授業実践に取り組んできた。タブレットを活用し、自分の考えを仲間と共有し、対話活動の中で自分とは異なる思考に触れることで、新たな見方や考え方に気付いたり、自らの考えを深化させたりすることができた。今後も、学習の様々な場面でタブレットを効果的に活用したい。

タブレットを活用した対話活動は、対話的な学びや協働学習の援助となる一方で、画面が実際に発する言葉を補うがゆえに話し合いが十分に行われないことや、画面上での交流に満足して、十分な言語を介した対話に発展しないことがあった。児童へのアンケートでは、「自分の考えを伝わるように発表できたか」という質問に、「あてはまらない・ややあてはまらない」と回答した児童が約13%に上った。自己表現が困難な理由は個々で異なるが、現状を踏まえながら、主体的、対話的で深い学びを実現していくためには、次のような指導や改善が必要である。

まずは、異なる考えを受容し、自他を大切にしながら、互いに支え合い認め合う学級風土を醸成することである。仲間と温かく関わり合うことのできる、心理的安全性が担保された支持的で創造的な学級づくりを行うこと。協力しながら学び合う、ピア・ラーニングができる学習集団を育てることで、児童が安心して自己表現できるようになると考える。

次に、自己表現を阻む学習的な要因への対処を行うことである。例えば、「分かっているけど話し方が分からない」「うまく伝えられない」といった個々の課題については、単純に「話し合う機会」を増やしたり、話し方に関わる指導を充実させたりすることで、その苦手意識を払拭したい。また、聞き方を身に付けることは、相手を尊重することにもつながる。話し方や聞き方が変われば、やりとりする情報の量や質が変化し、タブレットを活用した学びにも相乗的な効果が生まれると考える。

そして何より、児童一人一人の“自信”や“よりよくなりたいと願う心”を育てていくことである。ありのままの自分を受け止め、自分のよさや可能性を知ることによって自己肯定感や自己有用感を育む。あるいは、自ら目標を選択、設定し、その達成に向け自発的に努力しながら、自己実現を図る。このような自己理解や自己決定の場を通して、自己の伸長への意欲を育み、それが自分の考えを表現することへの基盤となっていくと考える。

昨年12月には生徒指導提要が改訂された。その中で「積極的な生徒指導の充実」が大きく掲げられている。児童一人一人が自己指導能力を身に付けることや、学校、学級において共感的な人間関係を育むことは、社会的にも強く求められている。

本年度は、まず、心を育てるための授業や学級づくりにつながる授業を中心に実践し、同時に、相手を大切にしたい話し方や聞き方が身に付くように指導する。自分や仲間を大切にしながら、自分の考えを表現できる児童を育てることで、授業の場での“深い学び”につなげていきたい。

## 3 重点目標

心を育てるための授業実践と、話すことや聞くことに関わる技術的な指導を通して、自他を尊重し、認め合い学び合える学級づくりを行い、自分も友達も大切にできる児童を育てる。

## 4 具体的な手立て

### (1) 心を育てるための授業実践

自他を尊重する態度の育成に向けた学活の授業実践を、年間を通して計画的に実施する。まずは「自分を知ること」から始め、「他者を知る」「ちがいを受け入れる」「関わり方を学ぶ」といった段階で授業を行ったり、学級会を行ったりしながら、一人一人の心を育て、認め合い支え合う学級をめざす。いじめ防止プログラムや人権ワーク、SSTやアサーショントレーニング、認知機能トレーニングなども取り入れ、個の課題にアプローチしながら、集団を伸ばすようにする。

### (2) 話し方や聞き方の技術的な指導の充実

主に、業前の「ことばの時間」を活用し、話し方や聞き方の指導を行う。現職教育において先行研究等も参考にしながら、効果的な指導法を探り、実践する。また、各教科や領域での対話活動や発表、学級会などで、その指導内容を生かしていくようにする。



## 5 研究方法

### (1) 教育相談アンケートの活用

児童対象のアンケートにおいて、「自己表現」や「自他を大切にすること」「学級の状況」に関わる質問の項目を設け、実態を把握して指導に生かし変容をつかむ。

### (2) 公開授業

心を育てるための授業実践は全ての学級で年間を通して実践するが、その中で計画的に授業公開を行い、各学級の実践が全校に波及していくようにする。

### (3) 現職教育における、指導法の研究

学級づくりに関わる現職教育を行う。また、相手に伝わる話し方や相手を大切にするような聞き方について、児童の実態に合わせ、国語科などの学習とも関連させながら、その指導方法を探る。